

第137回教育研究評議会議事要録

1 日 時 平成26年12月19日（金）14:01～16:50

2 場 所 事務局第1会議室

3 議 事

(1) 第3期中期目標期間における「基本的目標」について

理事（総務担当）から、資料1に基づき、第3期中期目標期間における「基本的目標（学長案）」に対する意見への対応について概要説明があり、項目ごとに担当理事・副学長から内容の説明があった後、意見交換が行われ、引き続き審議検討していくこととなった。

(2) 学校教育法の改正について

理事（総務担当）から、資料2-1から資料2-4に基づき、学校教育法の一部を改正する法律及び学校教育法施行規則の一部を改正する省令が平成27年4月1日に施行されることに伴う、教授会における審議事項等にかかる部局からの意見、規程改正案及び学内共同教育研究施設等の教員人事への対応について説明があった。

次いで、学長から、他に意見等がある場合は連絡いただきたいこと、及び1月開催の教育研究評議会で再度審議いただくことの補足説明があった。

(3) 長崎大学の国際戦略における学長への提言書について

理事（国際・附置研究所担当）から、資料3に基づき、スーパーグローバル大学創成支援事業の不採択を受け、本学と採択大学との比較検証・分析を踏まえて本学が抱える問題点を再整理し、本学の国際戦略における改善策の具体案を提言として纏めるよう学長の指示があったことを受け、同理事を座長とするグローバル化ビジョン策定WGを設置し、提言書をまとめたものである旨の経緯と同提言書の内容について説明があった。

次いで、学長から、本提言は第3期中期目標の基本的目標と連動すること、及び今後の論点について説明があり、本件は各学部等で持ち帰り検討いただきたい旨の依頼があった。

(4) 学生の懲戒処分について

（学生の個人情報を含む審議事項であるため非公開）

4 報告事項

(1) 経済学部・経済学研究科改革WGからの学長への答申について

学長から、資料5に基づき、経済学部・経済学研究科改革WGから学長へ答申があったことについて報告があった。

(2) 環境科学領域の強み創成WGからの学長への答申について

学長から、資料6に基づき、環境科学領域の強み創成WGから学長へ答申があったことについて報告があった。

(3) 長崎大学における感染症研究拠点の早期整備にかかる請願等について

調学長特別補佐から、資料7に基づき、「長崎大学における感染症研究拠点の早期整備を求める請願書」を長崎市議会議長へ提出し、市議会総務委員会及び本会議で審議・採択されたこと、及び「長崎大学における感染症研究拠点の早期整備を求める要望書」を長崎県議会議長へ提出し、県議会文教厚生委員会及び本会議で審議・採択されたことについて報告があった。

(4) 平成27年度科研費の応募について

理事（研究担当）から、資料8に基づき、平成27年度の科研費の応募状況等について報告があった。

(5) Elsevier Scival 及び SciVal Experts の学内利用開始について

理事（研究担当）から、資料9に基づき、研究情報の発信及び研究力強化への利用のため、Elsevier社のSciVal（研究分析ツール）及びSciVal Experts（研究者プロファイリングツール）の学内利用を開始することについて報告があった。

(6) その他

① 第3期中期目標期間における大学改革の基本的方向性等について

学長から、追加資料1-1から追加資料1-3に基づき、産業競争力会議で検討が行われている第3期中期目標期間における大学改革の基本的方向性、運営費交付金の見直しに関する基本的な考え方、機能強化の方向性（大学の類型化）等について説明があった。

② 国際カンファレンスの開催について

岡田経済学部長から、配付資料に基づき、平成27年1月7～8日に東京で開催される国際カンファレンスについて案内があった。

以上